



PLUS ULTRA

富キャン Express

Vol. 16



~ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ~ (白鷗大学足利高校富田校舎広報)

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

SSHから更なる進化へ

校長 平野英治



くの皆様と、意欲的に取り組んでいる生徒諸君に感謝しています。

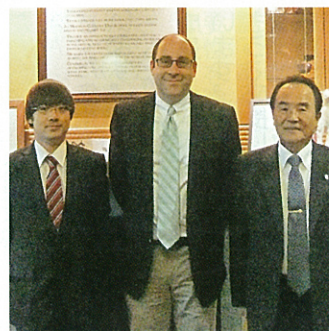
現在のSSHの活動は国内を中心にしていますが、来年度からは海外の姉妹校及び、協力を依頼していた海外の大学や高校との連携も順調に準備が整い、海外へ視野

今年5月、NASAのスペースシャトル「チャレンジャー」号に搭乗した元宇宙飛行士ジョン・A・マクブライド氏の講演からSSH(スーパースペース・ハイスクール)初年度の行事がスタートしました。関係の先生方を始め指導・協力していただいている大学や各種学校、関連企業や近隣の学校等の多



カリフォルニア・サイエンスセンターにて

を向けた取り組みも行っていきます。それに先駆け、米国ウィスコンシン州にあるマディソン・カントリー・デイ・スクールを訪れた際には、同校近隣のウィスコンシン州立大学で、ES細胞の模擬実験に参加してきました。実験中の生徒諸君の目の輝きは印象的でした。同大学では今後のSSH活動における連携もお約束いただきました。米国では新たにカリフォルニア州サンディエゴにあるマラナサ・クリスチャン・スクールと次年度以降の国際交流を含めての科学的な共同研究の話も進めてまいりました。同州ロサンゼルスでは広大なカリフォルニア・サイエンスセンターを見学しました。1階のフロアーにはNASAから直接飛行機の上に乗せて運んだスペースシャトルエンジン「デバー」が展示されています。その他にも歴代の宇宙ロケットや宇



マディソン・カントリー・デイ・スクールの校長先生と

全国高等学校総合文化祭囲碁部門優勝！

一有終の美を飾る！

7月23日・24日、東京都の日本棋院で行われた全国高校囲碁選手権大会に、団体戦で、進学コース三の二塚田花梨さん(栃木南中)・進学コース三の二出井千尋さん(栃木西中)・進学コース三の二佐々木智子さん(東陽中)の3人が、



対局する塚田さん(右)

個人戦で塚田さんが参加しました。団体戦は1勝2敗で予選敗退でしたが、1勝したことは大きな自信となりました。個人戦の塚田さんは予選を順調に勝ち進みましたが、準決勝で激戦の未敗れました。気を取り直して臨んだ後の対局は全勝し5位入賞という結果となりました。

また、8月3日・4日、長崎県で開催された全国高校総合文化祭の女子個人戦に塚田さんが出場しました。1回戦の相手は強敵の一年生で



顧問の前田先生と一緒に

したが、激戦を制し波に乗り6連勝しました。昨年2位の雪辱を果たし、3年間で2回目の優勝、有終の美を飾ることができました。



SSH指定校として海外での活動も積極的に進めていきますが、その目的の一つは皆さんがグローバルな人材になることです。日本が世界でその存在感を更に示すためにも、皆さんのこれからが大切です。グローバルな人材とは、英語を中心とした外国語での「コミュニケーション能力、異文化理解や活用能力、そして社会人としての基礎力を備えている人だと思えます。これらの能力を育成するために、文部科学省はグローバル・ハイスクールを推進しています。SSHの指定を契機に、更なる発展を目指し、よりグローバルな取り組みを学校全体で行なっていきたいと思えます。



いました。また、進学コース二年五組、進学コース三年五組の数学物理の研究展示や、科学部の富田校舎近隣の「植生マップ」の展示などがあり、これからの富田校舎のSS



富can祭オープニングのテープカット

Hの研究発表・展示でした。特に特別選抜コース合同研究の「植物物に含まれる金属イオンの検出及び分析」の発表は多くの人を惹きつけて



開会式の様子

7月12日・13日に3年に一度の大イベントである「富can祭」が行われました。記録的な猛暑の中、たく

ラスなど、行列で廊下が溢れてしまつクラスも多々見受けられました。保護者の皆様に提供して頂いた品物によるバザーも例年にも増して大盛況でした。体育館では本格的な音響機器が設置され、有志



科学部作成の植生マップ

今年の特色はなんとと言ってもSSHの研究発表・展示でした。特に特別選抜コース合同研究の「植物物に含まれる金属イオンの検出及び分析」の発表は多くの人を惹きつけてくれ



進学コース3年3組「名探偵ナツコ〜3-3からの挑戦状〜」



有志バンド「Étoile」による演奏

3年に度しか行われない富can祭が、今年開催されました。私が生徒会副会長を務めた中でも最大の学校行事です。4月から生徒会役員が丸となった



進学コース3年2組 津久井 七重 (毛里田中)

生徒会副会長の感想

〜感謝をこめて〜

この成功は私一人の力では決して成し得なかったことだと思えます。生徒会役員が協力し、支えてくれたから頑張ることができました。また、忙しい中で相談に乗ってくださった先生方にもとても感謝しています。

私は生徒会活動を通し、少しは成長できたのではないかと考えています。これらの経験を糧として、さらなる成長し続けていけるように、これからの人生を歩んでいこうと思えます。



男装女装コンテスト

企画についての話し合いをしてきました。当初は、慣れないことや分からないことばかりで不安や焦りがありました。しかし、納得がいくまで話し合いを重ね、成功の形が見えてくるようになりました。その甲斐があつて、生徒会主催で行ったオープニングイベント「男装女装コンテスト」は、会場全体で盛り上がる事ができました。多くの生徒の喜ぶ声を聞き、嬉しく感じました。この成功は私一人の力では決して成し得なかったことだと思えます。生徒会役員が協力し、支えてくれたから頑張ることができました。また、忙しい中で相談に乗ってくださった先生方にもとても感謝しています。

平成25年度 修学旅行

心に響く思い出

11月7日から11月14日にかけて、修学旅行が実施されました。今年度はアメリカ西海岸、東海岸、沖縄、オーストラリアの4つのコースが催行されました。それぞれ思い出に残る楽しい修学旅行になったようです。以下は各方面の生徒の感想文です。

(東海岸コース) アメリカ文化に触れて

特別選抜コース2年1組
金 慧周(佐野北中)

7日間にわたる修学旅行は、私にとって非常に有意義で、充実したものとなりました。日本を離れて遠いアメリカへと到着し、初めは14時間も遅れている現地時間に悩まされましたが、次々と視界に入り込んでくる異文化に、閉じかけた両目が何度も大きく開きました。現地のガイドさんなどからの熱心な説明を聞けば聞くほど、アメリカ人の愛国心やユーモラスなところがよく分かり、心から楽しむことができました。



フェンウェイパークにて

(西海岸コース) アメリカで感じたこと

進学コース2年3組
亀田 百華(板倉中)

初めてのアメリカは、何もかもが新鮮で驚くことばかりでした。ファーマーズマーケットは、カラフルなショップが立ち並び、通りを歩くだけで心踊り、その活気に圧倒されました。そこでの店員さんとのコミュニケーションを通して、アメリカ人の「温かさ」を感じる事ができました。このことだけでなく、様々な場所でアメリカ人の優しさに救われました。サンタモニカの海の美しさに感動し、UCLAではアメリカの大学生の活気を直に感じました。テレビ画面の中

とができました。

また、この修学旅行は、私にとって一番英語を話した期間でした。慣れない言葉を操るのには想像以上に勇気が必要で、時々うまく伝わらないことがあると、緊張と焦りで一瞬固まってしまうこともありました。それでも身振り手振りを加えて、理解してもらおうと努力しました。

初雪のニューヨークから成田へ立ち、長いよつであつという間に過ぎていった修学旅行は終わりましたが、まだまだ見足りません。次回は高校卒業後、いつかまた有意義で充実したアメリカ訪問を果たしたいと思っています。

しか見たことの無かった世界に実際にいって、いろいろなことが初めてのことばかりで、1日1日が刺激に溢れていました。たった6日間でしたが、心の底から楽しいと思える修学旅行でした。

この体験を、これからの生活に活かしていきたいです。たくさん素敵な経験をありがとうございました。



レストランにて

(沖縄コース) 段ボールを片付けながら

進学コース2年3組
落合 安純(小山三中)

私は旅行の準備が大嫌いです。正直今回も憂鬱でした。しかし、図らずも、私は沖縄修学旅行を満喫して来ました。

飛行機初体験で、石垣島に到着し、今まで触れたたことのない海の姿に感動。更には、その海でカヌーやシュノーケルまで体験させてもらいました。改めて気づいたことなのですが、私は自然が好きだったので、これには、自分でも驚きました。この旅行は楽しいことばかりではありませんでした。3日目の夜、

(オーストラリアコース) 思い出に残るホームステイ

進学コース2年5組
中山 友美(小山中)

期待よりも不安で押し潰れそうになった8日間の修学旅行。私はオーストラリアで多くのことを学び、多くのことを経験しました。その中でもホームステイは私自身を成長させ、自立心を促してくれた貴重な体験となりました。

ホームステイの他に、英語しか話してはいけないという緊張感の中過ごした語学学校では様々な人と触れ合い、文化の違いを知ることができました。また、キュランダ観光では、オーストラリアの自然豊かな環境を目でみて、肌で感じ、オーストラリアの人々がどれほど自然環境を大切にしているのかを改めて感じました。

この8日間はとても思い出に残る経験となりました。ホストファミリー



国際通りにて

がしくもあります。私は旅行の片付けは割りこ好きなのです。



トリニティ・ベイ・ステイト・ハイスクールにて

りとの別れは本当に辛かったです。この旅行を通して、世界の共通語である英語を活用する能力の必要性を強く感じました。英語を完璧に話せるようになるために、小さいことでも毎日積み重ねて努力していきたいです。

富田キャンパスへようこそ!

新入生の抱負

楽しい高校生活を
送っています!



特別選抜コース
1年1組
寺田 竜次
(結城東中)

高校生活を迎えるにあたって、私の抱負は二つあります。

一つ目は「学ぶこと」です。勉強はもちろんですが、SSH体験学習やポランティアなど、授業では学ぶことのできない貴重な機会が多々あります。その機会を無駄にせず二つでも多くの事を学び、成長の糧としていきたいです。

二つ目は「人間としての成長」です。義務教育が終わり、何事も自己管理となりました。そのため、自分の行動一つに責任を持たなければなりません。しっかりと自分の意志を持って物事に取り組み、「大人」になるための基盤を固めたいと考えています。

富田キャンパスの顔として自覚を持ち、その名に恥じぬように毎日努力をしていきたいです。



中高一貫コース
1年1組
野村 侖里
(白鷗足利中)

私が考える高校生活の抱負は、「時間を大切に」というものです。中学生の時には、学校、自宅とも



進学コース
1年1組
木村 百花
(太田西中)

私は本校の新入生として、自覚を持って行動したいと思っています。

学習面では早朝学習や8時学習を有効に活用し、自学自習の習



授業風景

に、それなりに時間の余裕がありました。高校に入学してからは、難解な授業やたくさん課題に追われる毎日です。新生活に胸躍る一方で、やはり、多忙な毎日不安や疲労を感じる場面がしばしばあります。こうした生活に大切なことは時間の上手な使い方だと思つたのです。今後は、なるべく自分の力で何でも出来るようになり、時間の管理をしっかりしたいと思っています。

光陰矢の如し。時間の儂さを実感し、3年間の努力でその儂い人生に華を咲かせたいと思います。

慣を身に付けられるようにしたいです。

そして、勉強に対する意識を高く持ち、3年後の受験に備えられるようにします。また、勉強だけでなくいろいろな行事やボランティア活動にも積極的に参加したいと思っています。球技大会や体育祭等楽しみな行事がたくさんあります。二つの行事を大切にしたいと思いい出にしたいと思っています。



進学コース
1年2組
石井 伶依
(坂西中)

私は高校生活がスタートするにあたって「全てを全力で取り組む」という抱負を持つことにしました。その理由は私の短所にあります。私は、すぐに気が抜けてしまい勉強や部活動にも手を抜いてしまつてしまいます。自分には、なぜ達成感を得ることができないのか、もどかしい気持ちになりました。

全てを全力で行つことは、今の自分だけでなく未来の自分にも自信を持たせてくれると気づきました。だから、高校生活では全てのことに対し全力で行つことに決めました。くじけそうになったら、自分が将来、どんな人間に成長したいかを考えたいです。努力を続ければ、明るい未来が待っていることを信じ、高校生活を最高のものにしていきます。



進学コース
1年3組
千金 楽海帆
(大泉北中)

中学生のころから憧れていた、白鷗大学足利高等学校に入学できました。ずっと着たかった制服に袖を通してこの学校の生徒となりました。夢をつ叶えた私の次の目標は、大学進学です。現役で合格するためには一年時からの学習が不可欠だと思っています。中でも私が一番意識しているのは、学習習慣の確立です。

私は中学生の時、家ではあまり勉強をしていませんでした。それでも授業についていくことができていくことができました。しかし、高校となると予習・復習が必須です。学習習慣を確立する必要があります。8時学習などを活用し、徐々に身に付



昼休みの様子

ていくことができていくことができました。しかし、高校となると予習・復習が必須です。学習習慣を確立する必要があります。8時学習などを活用し、徐々に身に付



進学コース
1年4組
江森 航平
(明和中)

私は、白鷗大学足利高等学校に文武両道を目指して入学しました。中学校時では、野球部で素晴らしい友人や先輩に出会い生の絆を築くことができました。高校でも新たな絆をクラスや部活動で築いて

けていこうと思います。そして希望する大学に現役合格できるように少しでも多く努力して、次の夢も叶えたいです。



進学コース
1年5組
東 世樹
(小山第三中)

「もっと自分に負けない強い人間になる」これが私の抱負でありこれからの目標です。

私は、頭の中で計画をしていても、それを行動に移せない、ということが多々あります。特に、勉強面では誘惑に負けて予定通りに学習が進まないというところも多く、ただ自分に甘い部分があるのだと日々痛感しています。

自分自身に勝つことができないれば、他人にも勝つことはできません。なので、私は自分に負けない強い心を持ち、これからの3年間を有意義に過ごしたいと思っています。そして、将来の夢を叶えるために二倍の努力をしたいと思っています。

いきなりたいと思いました。入部前の体験を通して、文武両道を成し遂げている先輩に憧れ男子ソフトボール部に入部を決めました。部活動を始めて2ヶ月経ちますが、中学校に比べ両立は難しく時間の使い方に苦戦しています。しかし、級友と切磋琢磨しながら自習室で学習したり、部活動で関東大会出場を目指し練習したりする日々はとても充実しています。これからも文武両道を実現するために頑張りたいです。